実質化された人・農地プラン(向谷原地区)

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
大洗町	向谷原地区	令和3年3月31日	令和3年3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	35.6h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	34.1h a
③地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	28. 17 h a
(備考)	

2 対象地区の課題

本地区は過去に基盤整備事業が行われたが、10 a 前後の小区画農地が多く狭隘な農道となっている水田地域のため、生産性の向上や効率的な営農をめざし、基盤整備事業(大区画化、用排水の整備及び農道整備等)に取り組んでいる。

そのような中で、担い手への集積・集約化を図っていく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体である認定農業者等(11人の担い手)に農地の85%以上を集積し、55a以上の区画に集約化を推進していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者	現 状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
		J. 755	0.00.1	J. T=5	1 00 1	七公压以 反
認農	担い手1	水稲	0. 39 ha	水稲	1. 29 ha	向谷原地区
認農	担い手2	水稲	0. 59 ha	水稲	1. 5 ha	向谷原地区
認農	担い手3	水稲	1. 03 ha	水稲	5. 46 ha	向谷原地区
認農	担い手4	水稲	0. 74 ha	水稲	2. 63 ha	向谷原地区
認農	担い手5	水稲	1. 11 ha	水稲	3. 52 ha	向谷原地区
認農	担い手6	水稲	1. 11 ha	水稲	1. 27 ha	向谷原地区
認農	担い手7	水稲	2. 36 ha	水稲	2. 56 ha	向谷原地区
到達	担い手8	水稲	0. 75 ha	水稲	1. 68 ha	向谷原地区
到達	担い手9	水稲	0. 3 ha	水稲	1. 59 ha	向谷原地区
到達	担い手10	水稲	0. 37 ha	水稲	1. 58 ha	向谷原地区
到達	担い手11	水稲	1. 12 ha	水稲	5. 09 ha	向谷原地区
計	1 1人		9. 87 ha		28. 17 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は 「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想 水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

○農地の貸付・売却意向

貸付けの意向が確認された農地は、147,497㎡で、売却の意向が確認された農地は86,552㎡となっている。

○基盤整備への取組

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組んでいく。

○関係機関との連携

農業委員、農地利用最適化推進委員や農地中間管理機構と連携し、担い手への集約化を図る。